

県議会開会中のご案内

Vol. 38

岡山県議会議員 総務委員会委員長 佐藤真治

平素より一方ならぬお世話になりまして誠にありがとうございます。

福田総理の突然に辞任もあり、政治も混沌とした状況の中にあります。『岡山県財政危機宣言』を受けた『財政構造改革プラン』を議論する石井県政3期目の最後となる9月定例会が、いよいよ始まりました。

このプランは、来年度以降の4年間で、400億円の効果額を出すために、職員定数を4433人から、約800人減らし、3600人体制にする人件費・内部管理経費で、計135億円、事務事業や公の施設の大幅な廃止、縮小で、約130億円を削減、さらに、約140億円の歳入確保を図るというものです。

については、民間団体への補助は原則廃止、あるいは2分の1を上限とし、市町村が行う国庫補助事業への上乗せ補助も、原則廃止。また、南北ファーマーズマーケット、県南部健康づくりセンター、水島サロンなどの31施設は、譲渡先が見つからない場合は廃止。伊島の岡山県児童会館は、廃止。国民文化祭は、先催県の半分となる8億円以下に。特に、当面の目標との差額分は、140億円の効果を見込む独自の職員給与のカットで補いますが、その削減幅は、ラスパイレル指数では、全都道府県中最下位となる平均3%から、平均9.5%に。45歳の主幹級職員で年間55万円の減額。

極めて厳しい改革案だけに、激論が必至です。また、10月26日投票の知事選挙でも、今までの改革の総括とさらなる改革の是非が争点になります。

6月定例会では、知事の退職金返上を求めて、法務局で不受理にはなりましたが、私自身の期末手当の供託、さらには、消防防災ヘリコプターの継続審査を巡るゴタゴタなど、大荒れでしたが、残念ながら、今議会は、人数の関係で、一般質問に立てません。しかし、財政危機、さらに、倉敷チボリ公園問題に対しての議会として責任を明確にし、さらに、公約である議員定数削減するために、最大限努力して参ります。

また、自民党県連青年局長として、昨年からの毎週の岡山駅前等の街頭演説も、60回を超えましたが、来るべき総選挙、解散総選挙においては、まさに、私自身の真価が問われるものとなります。

どうか引き続きの御指導御鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

~~~~~

（自由民主党総選挙街頭演説会（5人の候補者が、揃い踏みします））

日時：9月17日（水）午後4時～ 場所：岡山駅前（岡山高島屋前）

~~~~~

佐藤真治事務所 〒700-0827 岡山市平和町4-11 086-225-8000